

感染症対策をふまえた 災害への備え

安全・安心な避難のための3つのポイント

1 避難先を考えておきましょう

複数の避難先の検討（主に風水害）

- 避難とは「難」を「避」けることです。安全な場所にいる人まで避難所に行く必要はありません。
- 安全な親せき、知人宅等への避難も考えましょう。

2 備蓄品・非常持出し品を準備しておきましょう

非常持出し品の携行（風水害、地震）

- 備蓄品は、最低3日分、できれば1週間分は備えましょう。
- 非常持出し品には、感染症対策としてマスクや手指消毒液、体温計等も入れておきましょう。

【感染症対策のもの例】

- マスク 手指消毒液 除菌シート 体温計 使い捨てのビニール手袋
- ゴーグル(眼鏡) キャンプ用テント など

【非常持出し品の例】

- 水、食料 衣類（下着、防寒着） 携帯電話・充電器 携帯トイレ
- 常備薬 救急セット 懐中電灯・ランタン 携帯ラジオ タオル など



3 避難所での感染症対策の徹底について

避難所でのルール（風水害、地震）

- 受付時には発熱等の状況について確認しますので、ご協力をお願いします。
- 体調が悪い場合や体調に不安がある場合には、必ず避難所運営担当職員に申し出てください。
- 避難所では感染症対策にご協力ください。